

## 共同輸送・中継輸送実装研究会（第4回）を開催します

～「生産空間」の暮らしと産業を支える物流の維持に向けて～

北海道開発局では、「生産空間」を支える物流のサービス水準確保を目的に、物流事業者、行政、学識経験者等で構成する「共同輸送・中継輸送実装研究会」を設立し、道北地域における共同輸送・中継輸送の社会実装に向けた課題整理や、その解決手段として「北海道流」物流マッチングモデル『ロジスク』の考案等に取り組んでまいりました。

今回、道北地域での共同輸送・中継輸送の実装に向け、更なる事業者間での協働や連携のあり方等を議論するため、共同輸送・中継輸送実装研究会（第4回）を開催します。

- 1 日時 令和6年9月24日（火）10時00分から12時00分
- 2 場所 名寄市民文化センター 大会議室（名寄市西13条南4丁目2番地）
- 3 出席者 「共同輸送・中継輸送実装研究会」の構成員（別紙1参照）
- 4 内容 道北地域の共同輸送・中継輸送における課題への対応のあり方
- 5 その他 研究会は公開で開催しますが、テレビカメラ等による撮影は冒頭のみとさせていただき、以降は傍聴（着席）となります。取材を希望される方は、会場準備の都合上、9月20日（金）12時までに取材申込書（別紙2）に必要事項を記載の上、[hkd-ky-seisankuukan@gxb.mlit.go.jp](mailto:hkd-ky-seisankuukan@gxb.mlit.go.jp)まで申し込みをお願いします。

※ご提供いただいた個人情報は、当日の参加確認に使用させていただき、他の目的には使用しません。

### <これまでの経緯>（別紙3参照）

道北地域における持続可能な物流システムの構築に向けた共同輸送・中継輸送の実証実験が、計画的かつ効率的な準備・検討の推進が図られるよう、必要な検討と調整を行うとともに、本格運用に向けた課題の検討を行うことを目的に、令和5年3月に「共同輸送・中継輸送実装研究会」を設立しました。

令和5年7月の第1回研究会では、道北地域の物流構造を把握するとともに、共同輸送・中継輸送について、道北地域における共同輸送・中継輸送の社会実装に向けた課題を提示しました。

また、共同輸送・中継輸送の実現に向け、ワークショップによる物流事業者間のマッチングモデル「ロジスク」（ロジスティクス＋スクラム）をスタートさせました。令和5年10月に第2回研究会を、令和5年12月に第3回研究会を開催しました。

※昨年度までの取組状況

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/keikaku/slo5pa0000014hli.html>

全道で実施している「道路施設等を活用した中継輸送実証実験」の結果についても本研究会において共有し、連携しながら将来的な実装に向けた検討を進めていきます。

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/release/slo5pa000001eo6g-att/slo5pa0610doukei02.pdf>

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

開発監理部 開発調整課 開発企画官 松田 斉久（内線 5472）

開発監理部 開発調整課 開発専門官 佐藤 仁昭（内線 5476）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



(研究会 会員名簿)

◎ : 座長

組織名等	
<b>【有識者】</b>	
北見工業大学 地域未来デザイン工学科・社会インフラ工学コース	教授 高橋 清◎
小樽商科大学 グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門	教授 岸本 稔
北見工業大学 地域マネジメント工学コース	准教授 三枝 昌弘
<b>【事業者】</b>	
道北圏域ロジスティクス総合研究協議会	
北洋銀行名寄支店	
旭川物流株式会社	
五十嵐運輸株式会社	
株式会社ウェーブ	
エア・ウォーター物流株式会社	
有限会社おさ	
海王食品株式会社	
佐川急便株式会社 北海道支店	
有限会社名寄トラック	
日本通運株式会社 名寄支店	
北海道物流開発株式会社	
北旭物流株式会社 旭川営業所	
有限会社真嶋食品	
株式会社マルゴ福山水産	
都運送株式会社	
ヤマト運輸株式会社	
<b>【行政機関】</b>	
北海道運輸局	
北海道運輸局旭川運輸支局	
北海道開発局旭川開発建設部	
北海道	
北海道上川総合振興局	
名寄商工会議所	(事務局)
名寄市総合政策部	(事務局)
北海道開発局	(事務局)
(令和5年3月15日現在)	

北海道開発局 開発監理部 開発調整課 あて

(Mail: hkd-ky-seisankuukan@gxb.mlit.go.jp)

## 取材申込書

取材を希望する場合は、この様式により上記連絡先までメールでお申し込みください。

○取材申込期限：令和6年9月20日（金）12：00

会社名及び部署名

---

取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

①（代表者）

---

②

---

③

---

連絡先（代表者の連絡先）

メールアドレス

---

電話番号

---

テレビカメラの持ち込みの有無

（該当するものに○をつけてください） 有 ・ 無

---

※ご提供いただいた個人情報は、当日の参加確認に使用させていただき、他の目的には使用しません。

# これまでの研究会の開催概要のおさらい

## 研究会設立の経緯

道北地域の恒常的な物流課題に対し、名寄周辺を核として課題解決に向けた検討と取組がスタート

北海道開発局を事務局に、地域の関係機関・民間、北海道、北海道運輸局等をメンバーとする  
**名寄周辺モデル地域圏域検討会物流ワーキングチーム**を立ち上げ

共同輸送・中継輸送の実証実験が、計画的かつ効率的な準備・検討の推進が図られるよう、必要な検討と調整を行うとともに、本格運用に向けた課題の検討を行うため、名寄市、名寄商工会議所、北海道開発局を事務局とする

**共同輸送・中継輸送実装研究会**を令和5年3月15日に設立

## 研究会の目的と開催概要

### 研究会規約 第2条(目的)

研究会は、道北地域における持続可能な物流システム構築に向けた共同輸送・中継輸送の実証実験が、計画的かつ効率的な準備・検討の推進が図られるよう、必要な検討と調整を行うとともに、本格運用に向けた課題の検討を行うことを目的とする。

**第1回研究会** 令和5年7月10日

**第2回研究会** 令和5年10月6日

**第3回研究会** 令和5年12月4日

## <これまでの成果>

- 共同輸送・中継輸送の課題として、「場所」、「マッチング」、「商流」の3つの課題に整理
- 「マッチング」の課題解決手段として、ワークショップによる物流事業者間マッチングイベント「ロジスク」が誕生  
→一方、道北地域での本格運用に向けては事業者間での協働や連携のあり方等について引き続き議論が必要